

令和7年度入学生用 現代生活学部人間栄養学科 カリキュラムツリー

【現代生活学部人間栄養学科ディプロマ・ポリシー】
人の栄養に関する必要な幅広い知識と技術を身につけ、人間性豊かな人格を兼ね備えるとともに、人々の健康の保持・増進に貢献できる人材を養成します。所定の単位を修得した学生に学士（栄養学）を授与します。
DP1：＜知識・理解＞栄養に関する専門的知識を有し、技量等を統合して健康の維持増進や疾病予防・治療に応用できる。
DP2：＜思考・問題解決能力＞全人的な観点から対象者を理解し、科学的根拠に基づいた論理的思考および判断ができ、ライフステージの特性に応じた健康の維持増進、疾病予防・治療に貢献できる。
DP3：＜技能＞対象者の栄養状態を的確に評価することができ、他職種と連携して問題解決のための栄養ケア計画および栄養指導・支援ができる。
DP4：＜態度＞職業人としての倫理を身につけ、人権、人格を尊重し、行動することができる。また、豊かな人間性と社会性を持ち合わせ、信頼される管理栄養士として社会に貢献する志と自己研鑽する意識を持つことができる。

ディプロマ・ポリシー			DP1			DP2			DP3			DP4					
開講 年次	教 養 教 育 科 目			専 門 教 育 科 目									資格及び免許状				
	人間と生活	人間と科学	生活と情報/外国語 体育/初年次教育	社会・環境と健康	人体の構造と機能及 び疾病の成り立ち	食べ物と健康	基礎栄養学	応用栄養学	栄養教育論 臨床栄養学	公衆栄養学 給食経営管理論	総合演習 臨地実習	専門関連科目 専門関連科目	栄養教諭に関する科目 教諭に関する科目 栄養に係る教育に 関する科目	栄養士免許証	管理栄養士 国家試験 受験資格	食品衛生管理者 及び食品衛生監視員 任用資格	栄養教諭一種免許状
4 年後期	倫理学 ☆										総合演習		教職実践演習 (栄養教諭)				教職実践演習 (栄養教諭)
4 年前期				介護・看護演習	運動生理学 ※3	食品学Ⅲ				公衆栄養学実習Ⅱ		管理栄養士専門演習	学校栄養教育実習研究 学校栄養教育実習		公衆栄養学実習Ⅱ	食品学Ⅲ	学校栄養教育実習研究 学校栄養教育実習
3 年後期				人間の科学 ※2					カウンセリング論 食行動学 臨床栄養学各論Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅱ 栄養マネジメント	公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅳ	管理栄養士実務演習 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 給食管理実習Ⅳ	栄養セミナーⅢB 管理栄養士演習Ⅱ	学校栄養教育指導法Ⅱ	公衆栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ 給食管理実習Ⅰ 給食管理実習Ⅱ 管理栄養士実務演習 給食管理実習Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅳ	食行動学 臨床栄養学各論Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅱ 栄養マネジメント 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ 給食管理実習Ⅱ 給食管理実習Ⅲ 給食管理実習Ⅳ	学校栄養教育指導法Ⅱ	
3 年前期				解剖生理学実験 医学概論			応用栄養学Ⅲ	栄養教育論Ⅱ 栄養教育実習Ⅱ 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅰ	公衆栄養学Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食管理基礎実習 食品流通論			栄養セミナーⅢA 管理栄養士演習Ⅰ	学校栄養教育指導法Ⅰ	解剖生理学実験 医学概論 栄養教育論Ⅱ 栄養教育実習Ⅱ 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅰ 公衆栄養学Ⅰ	解剖生理学実験 医学概論 応用栄養学Ⅲ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育実習Ⅱ 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅰ 公衆栄養学Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食管理基礎実習 食品流通論	解剖生理学実験 医学概論 臨床栄養学各論Ⅰ 公衆栄養学Ⅰ 食品流通論	学校栄養教育指導法Ⅰ
2 年後期	歴史学	韓国語 ※1		公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習	解剖生理学Ⅱ 病理学 微生物学 ※3 人間発達学 ※3	食品衛生学実験	栄養学実習	応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習	栄養教育論Ⅰ 栄養教育実習Ⅰ 臨床栄養学総論	給食経営管理論Ⅰ		栄養セミナーⅡB	教育相談 特別支援教育概論 総合的な学習の時間及 び特別活動の指導法	病理学 食品衛生学実験 栄養学実習 応用栄養学実習 栄養教育論Ⅰ 臨床栄養学総論 給食経営管理論Ⅰ	公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 解剖生理学Ⅱ 病理学 微生物学 食品衛生学実験 栄養学実習 応用栄養学Ⅱ 臨床栄養学総論	公衆衛生学Ⅱ 解剖生理学Ⅱ 病理学 微生物学 食品衛生学実験 栄養学実習 応用栄養学Ⅱ 臨床栄養学総論	教育相談 特別支援教育概論 総合的な学習の時間及 び特別活動の指導法
2 年前期	日本国憲法	英語Ⅲ ※1		人と環境 ※2 公衆衛生学Ⅰ ☆	解剖生理学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験	食品学Ⅱ 調理学実験 食品衛生学	基礎栄養学Ⅱ	応用栄養学Ⅰ				栄養セミナーⅡA	教育課程総論 教育方法学 生徒指導の理論と方法	公衆衛生学Ⅰ 解剖生理学Ⅰ 生化学実験 食品学Ⅱ 食品衛生学 応用栄養学Ⅰ	公衆衛生学Ⅰ 解剖生理学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 食品学Ⅱ 調理学実験 食品衛生学 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅰ	公衆衛生学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 解剖生理学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学 応用栄養学Ⅰ	日本国憲法 教育課程総論 教育方法学 生徒指導の理論と方法
1 年後期		化学 生物学	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 英語Ⅱ	健康管理概論 社会福祉概論	細胞生理化学実験 生化学Ⅰ	食品学Ⅰ 食品学実験 調理学 調理学実習Ⅱ	基礎栄養学Ⅰ ☆					栄養セミナーⅠ 食生活演習Ⅱ 食文化調査演習	教育原理 ☆ 教育心理学	健康管理概論 生化学Ⅰ 食品学Ⅰ 調理学 調理学実習Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ	健康管理概論 細胞生理化学実験 生化学Ⅰ 食品学Ⅰ 食品学実験 調理学 調理学実習Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ	化学 生物学 生化学Ⅰ 食品学Ⅰ 食品学実験 基礎栄養学Ⅰ	教育原理 教育心理学
1 年前期	日本語表現 心理学 ☆ 社会学 ☆	科学の基礎 基礎化学 基礎生物学	生活と情報処理 数理・データサイエンス・AI 英語Ⅰ 体育講義 体育実技 ファーストイヤーセミナー			食品学基礎実験 調理学実習Ⅰ						食生活論 食生活演習Ⅰ フードコーディネート論	教職概論	食品学基礎実験 食品学基礎実験 基礎化学 生活と情報処理	食品学基礎実験 調理学実習Ⅰ 食品学基礎実験 英語Ⅰ 体育講義 体育実技 教職概論		

卒業必修科目
【卒業要件】①～③で
合計125単位以上
①教養教育科目：18単位以上
【人間と生活】より4単位以上
【人間と科学】より6単位以上
取得すること
また、※1の2科目(英語Ⅲ、韓国
語)の何れか2単位以上取得のこと
②専門教育科目：89単位以上
※2の2科目(人間の科学、人と環
境)の何れか2単位以上取得のこと
※3の3科目(微生物学、運動生理
学、人間発達学)のうち2単位以上
取得のこと
③教養教育科目及び専門教育科目
から18単位以上
ただし、他学部で履修した単位数
は教養教育科目として8単位まで
認定します。

管理栄養士国家試験受験資格
【臨地実習】のうち、「給食管理
実習Ⅲ」「臨床栄養学実習Ⅳ」
「公衆栄養学実習Ⅱ」の3科目に
ついては、このうち2科目(2単位)
を履修すること(必修)
食品衛生管理者及び
食品衛生監視員任用資格
最低取得単位数：40単位

栄養教諭一種免許状
免許状取得のためには、卒業に必
要な単位を修得すると共に栄養教
諭一種免許状必修科目を修得す
ることが必要。
社会福祉主事任用資格
★印の中から6単位以上履修

令和7年度入学生用 子ども学部子ども学科 カリキュラムツリー

【子ども学部子ども学科ディプロマ・ポリシー】

教学の理念のもと、「知識・情操・意思」をバランスよく備え、豊かな人間性と専門的能力を身につけた保育者・教育者を養成します。所定の単位を修得した学生に学士（子ども学）を授与します。学士力とは、「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」から成ります。

DP1：＜知識・理解＞保育や教育等に関する幅広い教養と専門的知識を修得し、子どもに関わる様々な場面で主体的に活用することができる。

DP2：＜思考・問題解決能力＞子どもに関わる様々な場面から、主体的に問題を見だし、問題解決の方法を探究し、計画を立てて実践し、振り返って次の問題の発見・解決につなげていくことができる。

DP3：＜技能＞保育や教育等に関する専門的スキルを修得し、子どもに関わる様々な場面で主体的に活用することができる。

DP4：＜態度＞子どもに関わる様々な場面において、子どもの最善の利益を実現するために、主体性を持って多様な人々と協働して問題解決を図ろうとする。

ディプロマ・ポリシー		DP1		DP2		DP3		DP4					
開講 年次	教 養 教 育 科 目	専 門 教 育 科 目						資 格 及 び 免 許 状					
		子ども学の探求	学士力の養成	子どもの理解	子どもと教科及び基礎技能	子どもの教育	子どもの生活支援	保育士資格	幼稚園教諭一種免許状	小学校教諭一種免許状	放課後児童指導員資格	准学校心理士資格 認定給本土資格	社会福祉主事任用資格
4 年 後 期		卒業研究Ⅱ		障害児援助論		保育・教職実践演習(幼・小) 教育史		障害児援助論 * 保育・教職実践演習(幼・小) 教育史 *	障害児援助論 *b 保育・教職実践演習(幼・小) 教育史 *b	障害児援助論 *c 保育・教職実践演習(幼・小) 教育史 *c	卒業研究Ⅱ *j 障害児援助論 *j 保育・教職実践演習(幼・小) *j		
4 年 前 期		卒業研究Ⅰ	子ども学実践研究Ⅲ				地域福祉論 保育実習Ⅲ 保育実習研究Ⅱ 学童保育実習Ⅱ	地域福祉論 * 保育実習Ⅲ ** 保育実習研究Ⅱ **	地域福祉論 *b		卒業研究Ⅰ *j 地域福祉論 保育実習Ⅲ *n 学童保育実習Ⅱ *n		地域福祉論
3 年 後 期		課題研究Ⅱ	子ども学実践研究Ⅱ	子どもとダンス 教育社会学	体育科教育法	保育者論 教育・保育課程総論 子どもと音楽研究 教育実習研究A 教育実習A 生徒指導・進路指導の 理論と方法 教育実習研究B 教育実習B	子育て支援	子どもとダンス 保育者論 教育・保育課程総論 子どもと音楽研究 *	教育社会学 子どもとダンス *b 保育者論 教育・保育課程総論 教育実習研究A 教育実習A 子どもと音楽研究 *b	教育社会学 体育科教育法 教育・保育課程総論 生徒指導・進路指導の 理論と方法 教育実習研究B 教育実習B	子どもとダンス *j 子どもと音楽研究 *j 教育・保育課程総論 *j 教育実習A *n 教育実習B *n 子育て支援 *m		
3 年 前 期	日本国憲法	課題研究Ⅰ	子ども学実践研究Ⅰ	幼児理解の理論と方法 教育相談	体育 国語科教育法 道徳教育指導論	教育方法学 保育内容総論 特別支援教育 特別活動・総合的な 学習の時間の指導法 子どもと言葉指導法 子どもと表現指導法 子どもと音楽 I C T 活用の理論と実践	子ども家庭支援論 保育所実習Ⅰ 保育所実習Ⅱ 保育実習研究Ⅰ 施設実習	教育相談 * 幼児理解の理論と方法 * 教育方法学 * 保育内容総論 子どもと言葉指導法 * 子どもと表現指導法 * 子どもと音楽 * 子ども家庭支援論 保育所実習Ⅰ 施設実習 保育実習研究Ⅰ 保育所実習Ⅱ **	日本国憲法 幼児理解の理論と方法 教育相談 教育方法学 子どもと言葉指導法 子どもと表現指導法 保育内容総論 特別支援教育 I C T 活用の理論と実践 *b 子どもと音楽 *b	日本国憲法 教育相談 体育 *a 国語科教育法 道徳教育指導論 教育方法学 特別支援教育 特別活動・総合的な 学習の時間の指導法 I C T 活用の理論と実践	特別支援教育 *i 保育内容総論 *j 子どもと言葉指導法 *j 子どもと表現指導法 *j 子ども家庭支援論 *m 保育所実習Ⅰ *n 保育所実習Ⅱ *n 施設実習 *n	特別支援教育 教育相談	
2 年 後 期	韓国語 ※	子ども研究法Ⅱ	総合教養養成セミナーⅡ		国語 算数科教育法 理科教育法 家庭科教育法 英語科教育法 児童英語演習	子どもと言葉 子どもと表現 子どもの健康と安全 子どもの健康と安全 施設実習研究 障害児保育 社会的養護Ⅱ 乳児の保育Ⅱ 障害児保育 保育計画Ⅱ	子ども家庭福祉 社会的養護Ⅱ 子どもの保健 子どもの健康と安全 施設実習研究 障害児保育 社会的養護Ⅱ 乳児の保育Ⅱ 障害児保育 保育計画Ⅱ	子どもと言葉 子どもと表現 保育計画Ⅱ *b	子どもと言葉 子どもと表現 保育計画Ⅱ *b	国語 *a 算数科教育法 理科教育法 家庭科教育法 英語科教育法 児童英語演習 *c	子どもと言葉 *j 子どもと表現 *j 子ども家庭福祉 子どもの保健 *g 子どもの健康と安全 *g 子どもの食と栄養Ⅱ *h 障害児保育 *i 保育計画Ⅱ *j 社会的養護Ⅱ *k	子ども家庭福祉	
2 年 前 期	英語Ⅲ ※	子ども研究法Ⅰ	総合教養養成セミナーⅠ	子どもとおやつ 子どもと絵本Ⅰ 子どもと絵本Ⅱ 子どもと楽器 子どもと手芸 教育心理学 子どもと楽器 子どもと手芸 子どもと環境指導法 社会福祉 子どもと手芸 社会科教育法 生活科教育法	算数 理科 家庭 英語 社会科教育法 生活科教育法	子どもと環境指導法 子どもと健康指導法 子どもと環境 数値概論 子どもと造形 小学校教育基礎研究	社会福祉 社会的養護Ⅰ 子どもの食と栄養Ⅰ 乳児の保育Ⅰ 保育計画Ⅰ 学童保育実習Ⅰ 学童保育実習研究	子どもとおやつ * 子どもと絵本Ⅰ * 子どもと絵本Ⅱ * 子どもと楽器 * 子どもと手芸 * 教育心理学 子どもと環境指導法 * 社会福祉 社会的養護Ⅰ 子どもの食と栄養Ⅰ 乳児の保育Ⅰ 保育計画Ⅰ *	子どもとおやつ *b 子どもと絵本Ⅰ *b 子どもと絵本Ⅱ *b 子どもと楽器 *b 子どもと手芸 *b 子どもと環境指導法 教育心理学 保育計画Ⅰ *b	算数 *a 理科 *a 家庭 *a 英語 *a 社会科教育法 生活科教育法 教育心理学	子どもとおやつ *j 子どもと絵本Ⅰ *j 子どもと絵本Ⅱ *j 子どもと楽器 *j 子どもと手芸 *j 教育心理学 *f 子どもと環境指導法 *j 社会福祉 子どもの食と栄養Ⅰ *h 保育計画Ⅰ *j 社会的養護Ⅱ *k 学童保育実習Ⅰ 学童保育実習研究	教育心理学 子どもと絵本Ⅰ 子どもと絵本Ⅱ	
1 年 後 期	英語Ⅱ 倫理学 歴史学	現代子ども学入門	基礎学力養成セミナーⅡ	人権教育論 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助	生活 基礎音楽B 社会 音楽科教育法 図画工作科教育法	子どもと人間関係指導法 子どもと健康指導法 子どもと環境 数値概論 子どもと造形 小学校教育基礎研究	学童保育論 学童保育方法論	子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 基礎音楽B * 子どもと環境 子どもと健康指導法 * 子どもと人間関係指導法 *	生活と情報処理 子ども家庭支援の心理学 *b 基礎音楽B *b 子どもと環境 子どもと健康指導法 子どもと人間関係指導法 子どもと造形 *b	生活と情報処理 子ども家庭支援の心理学 *c 生活 *a 社会 *a 音楽科教育法 図画工作科教育法 基礎音楽B *c 数値概論 小学校教育基礎研究 *c	子ども家庭支援の心理学 *f 基礎音楽B *j 子どもと環境 *j 子どもと健康指導法 *j 子どもと人間関係指導法 *j 子どもと造形 *j 学童保育論 学童保育方法論	子ども家庭支援の心理学 倫理学	
1 年 前 期	心理学 社会学 英語Ⅰ 芸術 数理・データサイエンス・AI	ファーストイヤーセミナー 現代環境論 体育講義 自然科学概論 日本語表現	基礎学力養成セミナーⅠ	音楽 図画工作 基礎音楽A	音楽 図画工作 基礎音楽A	教育原理 子どもと健康 子どもと人間関係 小学校教育基礎演習	保育原理	体育講義 体育実技 基礎音楽A 教育原理 子どもと健康 子どもと人間関係 保育原理	英語Ⅰ 体育講義 体育実技 基礎音楽A *b 子どもと健康 子どもと人間関係 教育原理	英語Ⅰ 体育講義 体育実技 音楽 *a 図画工作 *a 基礎音楽A *c 小学校教育基礎演習 *c 教育原理	基礎音楽A *j 子どもと健康 *j 子どもと人間関係 *j	心理学 社会学 保育原理 教育原理	心理学 社会学 社会福祉主事任用資格 6単位以上履修

令和7年度入学生用 国際教養学部国際教養学科 カリキュラムツリー

【国際教養学部国際教養学科ディプロマ・ポリシー】

「自律創世」の教学の理念のもと、社会が直面する諸問題の解決に必要なとされる幅広い知識・分析スキルおよびコミュニケーション力を身につけて、責任ある社会人として地域に貢献できる人材を養成します。所定の単位を修得した学生に学士（国際教養）を授与します。

DP1：＜知識・理解＞社会の構造的変化の全体的構図を描くために必要とされる幅広い知識を有し、自分の意見（仮説）を形成し、また討議を通じて意見を調整（検証）する力を備えている。

DP2：＜思考・問題解決能力＞身近な地域の問題からグローバルな課題まで考察できる思考力と問題解決に向けた調整力を身につけている。

DP3：＜技能＞コミュニケーション力と、様々な定性的および定量的データを分析する力を身につけて、意味のある命題を導くことができる。

DP4：＜態度＞社会人としての倫理観を身につけ、マネジメントの考え方に立って、他者と協力して地域社会に貢献する態度を有する。

ディプロマ・ポリシー

DP1

DP2

DP3

DP4

開講 年次	教養教育科目	専 門 教 育 科 目									資 格				
		国際教養基幹科目	IT共通科目	RMC科目	GMC科目①	GMC科目②	A&FMC科目	ゼミナール科目	キャリア教育科目	留学	日本語科目	観光実務士	上級ビジネス実務士（国際ビジネス）	日本語教育課程修了証	社会福祉主事任用資格
4 年 後 期								専門ゼミⅥ							
								卒業研究							
4 年 前 期					国際経営論			専門ゼミⅤ				国際経営論 **			
3 年 後 期		実践英語Ⅳ		ブランド戦略論		農業政策と環境・資源保全		専門ゼミⅣ	キャリア・デザイン		キャリア・デザイン *	フードマーケティング論 ** キャリア・デザイン **	日本語教育特論		
		日本語教育特論				フードマーケティング論									
3 年 前 期		実践英語Ⅲ		現代ビジネス論	日・アセアン関係	英語プレゼンテーション	農産物直売所と地域活性化	専門ゼミⅢ	ビジネスプランニング		英語プレゼンテーション * インターンシップ(短期) * インターンシップ(中長期) *	現代ビジネス論 ** 英語プレゼンテーション **	日本語教育実践研究 英語プレゼンテーション *** 日・アセアン関係 ***		
		日本語教育実践研究		リーダーシップ論					インターンシップ(短期) インターンシップ(中長期)						
2 年 後 期		プレゼンテーション技法 ビジネス・イングリッシュ ビジネス・ディスカッション 技法 日米関係 日本の文学 現代環境論 日本語教授法		経営戦略論 データサイエンス論 レジャー・リゾート論 地域経済学		時事英語 観光英語B	アジア食品論	専門ゼミⅡ		セメスター留学	ビジネス・イングリッシュ * ビジネス・ ディスカッション技法 * レジャー・リゾート論 * 観光英語B * 専門ゼミⅡ *	ビジネス・イングリッシュ ** ビジネス・ ディスカッション技法 ** 経営戦略論 **	日本の文学 *** 日本語教授法		
2 年 前 期		社会調査の基礎 観光英語A 食品流通論 英語資格演習Ⅱ 日本の伝統文化 日本語教育概論 経営学特論		マーケティング論		ライティング 英語ディスカッション	フードコーディネート論 食生活論	専門ゼミⅠ			観光英語A 専門ゼミⅠ *	マーケティング論	日本の伝統文化 *** 日本語教育概論 ライティング *** 英語ディスカッション ***	社会調査の基礎	
1 年 後 期	倫理学 日本文化論 中国語 韓国語	導入ゼミナールⅡ 会計学入門 観光実務 実践英語Ⅱ 英語資格演習Ⅰ 日本の食文化 国際関係論	情報処理Ⅱ						トップリーダー講義 （キャリア研究）	春季語学研修	日本語Ⅱ	観光実務 トップリーダー講義 （キャリア研究）	導入ゼミナールⅡ ** トップリーダー講義 （キャリア研究）	日本文化論 *** 中国語 *** 韓国語 *** 導入ゼミナールⅡ *** 実践英語Ⅱ *** 国際関係論 ***	倫理学
1 年 前 期	心理学 自然科学概論 日本国憲法 比較文化論 岡山学（オムニバス） 数理・データサイエンス・AI 実践英語Ⅰ	導入ゼミナールⅠ 経営学入門 総合英語 簿記入門 観光総論 農業経済入門	情報処理Ⅰ							夏季語学研修	日本語Ⅰ	岡山学（オムニバス） * 経営学入門 観光総論	岡山学（オムニバス） ** 実践英語Ⅰ 導入ゼミナールⅠ ** 経営学入門	比較文化論 *** 実践英語Ⅰ *** 導入ゼミナールⅠ ***	心理学

卒 業 必 修 科 目

【卒業要件】①～③で合計124単位以上

①教養教育科目：14単位以上
②専門教育科目：84単位以上
③教養教育科目及び専門教育科目から26単位以上
ただし、他学部で履修した単位数は教養教育科目として20単位まで認定します。

観光実務士

①②合計22単位以上
①必修10単位
②*印の選択科目の中から
12単位以上

上級ビジネス実務士(国際ビジネス)

①②合計26単位以上
①必修10単位
②**印の選択科目の中から
16単位以上

日本語教育課程修了証

①②合計26単位以上
①必修8単位
②***印の選択科目の中から
18単位以上

社会福祉主事任用資格

資格必修6単位履修

令和7年度入学生用 総合生活学科 カリキュラムツリー

【総合生活学科ディプロマ・ポリシー】

現代を心豊かにたくましく生きる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に短期大学士（生活学）を授与します。学力とは、「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」から成ります。

DP1：＜知識・理解＞生活学を中心とした幅広い教養を有するとともに、衣食住、環境、情報に関する基本的知識を身につけている。また、衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務のいずれかの分野または複数の分野における専門的な知識を修得している。

DP2：＜思考・問題解決能力＞他者を思いやる心、他者に対する礼儀の精神を有するとともに、他者と協力し問題を解決しようと試みることができる。

DP3：＜技能＞衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務のいずれかの分野又は複数の分野における技能を身につけ、生活の中で活かすことができる。

DP4：＜態度＞他者との関係が良好であるように努めるとともに、おもてなしの心を有する。また、継続的活動を通して目標を達成した経験を有し、変化し続ける現代社会に対応すべく生涯にわたって学習意欲を持ち続けることができる。

ディプロマ・ポリシー		DP1		DP2		DP3		DP4		
開講 年次	教 養 科 目	専 門 科 目				資 格 一 覧				
		専 門 科 目 一 覧		生活創造コース要件科目	医療事務コース要件科目	生活福祉コース要件科目	ビジネス実務士	フードコーディネーター3級 介護職員初任者研修	介護福祉士 医療的ケア基本研修	
2 年 後 期	法学概論 ☆	生活学概論D	調理実習Ⅱ フードマーケティング論 ファッションコーディネート演習 医事コンピュータ演習Ⅱ 接遇演習 応用メンタルヘルス学	地域福祉論 ☆ 生活コミュニケーション特論演習B 生活支援技術論 介護の基本Ⅱ-B リスクマネジメント論 総合生活学セミナーKⅣ 特別研究 介護実習Ⅱ 医療的ケアⅡ	生活コミュニケーション演習D (集団におけるコミュニケーション)	医事コンピュータ演習Ⅱ 接遇演習 生活コミュニケーション演習D (集団におけるコミュニケーション)		フードマーケティング論	調理実習Ⅱ フードマーケティング論 ヒューマンケア *通年科目	地域福祉論 介護の基本Ⅱ-B 生活コミュニケーション特論演習B リスクマネジメント論 生活支援技術論 総合生活学セミナーKⅣ 特別研究 介護実習Ⅱ 医療的ケアⅡ 医療的ケアⅡ
	芸術 時事問題	生活コミュニケーション演習D (集団におけるコミュニケーション) 総合生活学セミナーC (現代のダイエット・ダイエット法の批判的考察) 総合生活学セミナーD (ファッション演出企画)								
2 年 前 期	英語B ※1 中国語 ※1	生活学概論C	生活情報演習B アパレル基礎実習 アパレル企画実習 応用調理演習 フードコーディネート実習 食品加工実習 医療管理事務総論B 医事コンピュータ演習Ⅰ 診療報酬請求事務Ⅱ 診療報酬請求事務演習Ⅱ	生活コミュニケーション特論演習A 生活支援技術Ⅲ 介護の基本Ⅱ-A 認知症の理解Ⅱ 障害の理解 人間関係とコミュニケーション こころとからだのしくみⅡ 総合生活学セミナーKⅢ 介護過程Ⅲ 介護実習Ⅰ-③ 医療的ケアⅠ	生活コミュニケーション演習C (自己理解とコミュニケーション)	社会福祉論 生活情報演習B 医療管理事務総論B 医事コンピュータ演習Ⅰ 診療報酬請求事務Ⅱ 診療報酬請求事務演習Ⅱ 生活コミュニケーション演習C	社会福祉論 障害の理解 人間関係とコミュニケーション こころとからだのしくみⅡ	生活情報演習B 生活コミュニケーション演習C (自己理解とコミュニケーション)	フードコーディネート実習 ヒューマンケア *通年科目	社会福祉論 介護の基本Ⅱ-A 認知症の理解Ⅱ 障害の理解 人間関係とコミュニケーション 生活コミュニケーション特論演習A こころとからだのしくみⅡ 生活支援技術Ⅲ 総合生活学セミナーKⅢ 介護過程Ⅲ 介護実習Ⅰ-③ 医療的ケアⅠ 医療的ケアⅠ
		生活コミュニケーション演習C (自己理解とコミュニケーション) 総合生活学セミナーA (食の情報・インターネット情報の評価と活用) 総合生活学セミナーB (心の探求学)								
1 年 後 期	心理学 ☆ 社会保障論 ☆ 社会学 ☆ 数理・データサイエンス・AI 日本語表現	生活学概論B	生活情報演習A キャリア開発演習 食と健康 食品の世界 食空間と調理 調理実習Ⅰ 生活とデザイン 生活デザイン実習 ファッションビジネス 診療報酬請求事務Ⅰ 診療報酬請求事務演習Ⅰ メンタルヘルス学	生活支援技術Ⅱ 介護の基本Ⅰ 認知症の理解Ⅰ 人間発達学 発達と老化の理解 障害者支援論 こころとからだのしくみⅠ 総合生活学セミナーKⅡ 介護過程Ⅱ 介護実習Ⅰ-② *通年科目	キャリア開発演習	生活情報演習A キャリア開発演習 診療報酬請求事務Ⅰ 診療報酬請求事務演習Ⅰ	介護の基本Ⅰ 認知症の理解Ⅰ 発達と老化の理解 こころとからだのしくみⅠ 人間発達学	ホスピタリティとマナー ファッションビジネス 生活情報演習A キャリア開発演習 生活コミュニケーション演習B (コミュニケーションとプレゼンテーション)	食と健康 食品の世界 食空間と調理	心理学 社会保障論 数理・データサイエンス・AI ホスピタリティとマナー メンタルヘルス学 介護の基本Ⅰ 認知症の理解Ⅰ 人間発達学 発達と老化の理解 障害者支援論 こころとからだのしくみⅠ 生活支援技術Ⅱ 総合生活学セミナーKⅡ 介護過程Ⅱ 介護実習Ⅰ-② *通年科目
		生活コミュニケーション演習B (コミュニケーションとプレゼンテーション)								
1 年 前 期	人間の尊厳と自立 日本国憲法 経済学 体育実技 フレッシュャーズセミナー 英語A ※1 韓国語 ※1 韓国文化論	生活学概論A	生活学基礎演習 食と生活 基礎調理演習 食生活演習 製菓演習 ファッションと生活 色彩学 生活情報基礎演習 医療管理事務総論A 秘書学	介護概論 ☆ 医学一般 ☆ 生活支援技術Ⅰ 生活余暇支援技術 地域共生社会論 生活家事支援技術 総合生活学セミナーKⅠ 介護過程Ⅰ 介護実習Ⅰ-① 介護実習Ⅰ-② *通年科目		医療管理事務総論A 秘書学	人間の尊厳と自立 地域共生社会論 介護概論	生活コミュニケーション論 生活コミュニケーション演習A (コミュニケーションにおける聴くこと)	食と生活	人間の尊厳と自立 生活コミュニケーション論 地域共生社会論 介護概論 医学一般 生活支援技術Ⅰ 生活家事支援技術 生活余暇支援技術 総合生活学セミナーKⅠ 介護過程Ⅰ 介護実習Ⅰ-① 介護実習Ⅰ-② *通年科目
		生活コミュニケーション論 ※生活コミュニケーション論 生活コミュニケーション演習A (コミュニケーションにおける聴くこと)								

卒業必修科目	
【卒 業 要 件】	①教養科目：12単位以上 (※1の4科目(英語A・B、中国語、韓国語)の何れか2単位以上取得のこと)
	②専門科目：必修14単位、選択26単位以上
	※生活創造コース及び医療事務コースの学生は、「ホスピタリティとマナー」「生活コミュニケーション論」の他に「生活学概論A」「生活学概論B」「生活学概論C」「生活学概論D」「生活コミュニケーション演習A」「生活コミュニケーション演習B」を卒業必修科目とする。 ※生活福祉コースの学生は、「ホスピタリティとマナー」「生活コミュニケーション論」の他に「生活コミュニケーション特論演習A」「生活コミュニケーション特論演習B」「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅱ」「生活支援技術Ⅲ」「生活支援技術論」「生活余暇支援技術」を卒業必修科目とする。

社会福祉主事任用資格
①必修：社会福祉論 ☆印
②☆印の中から4単位以上履修

ビジネス実務士
①必修6単位
②選択科目4単位以上
＜領域1＞生活コミュニケーション演習A・C、キャリア開発演習
＜領域2＞ファッションビジネス、生活情報演習A・B、生活コミュニケーション演習B
＜領域3＞ファッションコーディネート演習、生活コミュニケーション演習D

令和7年度入学生用 保育学科 カリキュラムツリー

【保育学科ディプロマ・ポリシー】
保育者として必要な幅広い知識と技術を身につけ、豊かな人間性を備えた人材を養成します。所定の単位を修得した学生に短期大学士（保育学）を授与します。
DP1：＜知識・理解＞保育者に求められる専門的な知識を有し、それらを向上心を持って保育実践に活かすことができる。
DP2：＜思考・問題解決能力＞保育を取り巻く環境の変化やよりよい保育活動をしていくうえでの課題について、適切に思考・判断し主体的に解決できる。
DP3：＜技能＞他者を理解し応答の対応をするなかで、専門的技能を活用して保育ができる。
DP4：＜態度＞信頼される保育者に必要な優しさや思いやりなど、豊かな人間性と仲間との協調や家庭・地域と連携する態度を身につけている。

ディプロマ・ポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4
------------	-----	-----	-----	-----

開講 年次	教 養 科 目	専 門 科 目			資 格 一 覧		
		専門科目一覧			保育士資格	幼稚園教諭二種免許状	社会福祉主事任用資格
2 年 後 期	社会学	子ども家庭支援論	子どもの健康と安全	音楽実践演習B	体育講義 子ども家庭支援論 子どもの理解と援助 教育・保育課程論 保育内容の理解と方法D 子どもの健康と安全 子育て支援 保育・教職実践演習(幼稚園)	体育講義 教育・保育課程論 人間関係の指導法 環境の指導法 表現の指導法 教育実習 教育実習指導 保育・教職実践演習(幼稚園)	
	体育講義	子どもの理解と援助	子育て支援	教育実習			
		教育・保育課程論	人間関係の指導法	教育実習指導			
		保育内容の理解と方法D	環境の指導法	保育・教職実践演習(幼稚園)			
			表現の指導法				
2 年 前 期	情報処理概論	子ども家庭福祉	乳児保育Ⅱ	保育者対話実践演習	英語B ★ 子ども家庭福祉 保育者論 保育内容総論 (保育内容) 環境 保育内容の理解と方法C 乳児保育Ⅱ 保育実習指導C 保育実習指導D 保育実習B 保育実習C 保育実習D	情報処理概論 保育者論 教育相談 保育内容総論 (保育内容) 環境 健康の指導法 言葉の指導法 教育・保育技術論	
	英語B	保育者論	健康の指導法	保育実習指導C			
		教育相談	言葉の指導法	保育実習指導D			
		保育内容総論	教育・保育技術論	保育実習B			
		(保育内容) 環境	親子ふれあい演習B	保育実習C			
		保育内容の理解と方法C	音楽実践演習A	保育実習D			
1 年 後 期	芸術	社会的養護Ⅰ	(保育内容) 表現	音楽基礎演習B	英語A ★ 社会的養護Ⅰ 子ども家庭支援の心理学 子どもの保健 (保育内容) 健康 (保育内容) 人間関係 (保育内容) 表現 保育内容の理解と方法B 乳児保育Ⅰ 社会的養護Ⅱ 保育実習指導A 保育実習指導B 保育実習A	英語A (保育内容) 健康 (保育内容) 人間関係 (保育内容) 表現	
	数理・データサイエンス・AI	子ども家庭支援の心理学	保育内容の理解と方法B	保育教材および表現の研究			
	英語A	子どもの保健	乳児保育Ⅰ	保育実習指導A			
		(保育内容) 健康	社会的養護Ⅱ	保育実習指導B			
		(保育内容) 人間関係	親子ふれあい演習A	保育実習A			
1 年 前 期	日本語表現	保育者基礎演習	教育心理学	子どもと防災	体育実技 教育原理 保育原理 社会福祉 教育心理学 (保育内容) 言葉 子どもの食と栄養A 子どもの食と栄養B 保育内容の理解と方法A 特別支援教育入門	日本国憲法 体育実技 教育原理 教育心理学 (保育内容) 言葉 特別支援教育入門	教育原理 保育原理 社会福祉
	日本国憲法	教育原理	(保育内容) 言葉	保育内容の理解と方法A			
	体育実技	保育原理	子どもの食と栄養A	特別支援教育入門			
	フレッシュアーズセミナー	社会福祉	子どもの食と栄養B	音楽基礎演習A			

※保育士資格における★印(「英語A」「英語B」)は選択必修です。

※保育士資格における選択必修科目は、「保育実習指導C」と「保育実習C」又は「保育実習指導D」と「保育実習D」の組み合わせで3単位以上選択履修すること

令和7年度入学生用 情報ビジネス学科 カリキュラムツリー

【情報ビジネス学科ディプロマ・ポリシー】

職業人に必要とされる幅広く専門的な知識とスキルを身につけるとともに、知・情・意のバランスのとれた人格の形成を目指します。所定の単位を修得した学生に短期大学士（経営情報学）を授与します。

DP1：＜知識・理解＞情報とビジネスの領域に関する専門的な知識を修得し、実践する力を有している。

DP2：＜思考・問題解決能力＞自らのセンスや感性を大切にしながらも論理的で客観的な思考ができる。また、他者の立場に立って、他者を思いやる心を有している。

DP3：＜技能＞パソコンの利用技術、ビジネス実務のスキルを有して、得たスキルを実践する能力を有している。

DP4：＜態度＞職業人としての常識・マナー・倫理観を身につけている。また、向上心を持ち、高い目標に向かって、自主的に学ぶことができる。

ディプロマ・ポリシー		DP1		DP2		DP3		DP4		
開講 年次	教育課程					卒業時に取得可能な資格(社会福祉主事任用資格は左の教育課程内に記載)				
	教 養 科 目	専 門 科 目				上級情報処理士 情報処理士	上級ビジネス実務士 ビジネス実務士	社会調査実務士 社会調査アシスタント	ウェブデザイン実務士	プレゼンテーション実務士
2年後期	★ 法学概論 日本語表現 時事問題 体育実技	◎ 情報メディア論 簿記論B 簿記演習B 地域創生学	◎ ゼミナールB ソーシャルメディア クロスリアリティ ウェブデザイン演習	ウェブアプリ開発 心の健康の心理学 社会調査演習		○ 情報メディア論 ○ ソーシャルメディア ゼミナールB	○ 地域創生学 ゼミナールB	○ 社会調査演習 ○ ○ 地域創生学 ゼミナールB	○ ウェブデザイン演習 ○ ウェブアプリ開発 ソーシャルメディア	ゼミナールB
2年前期	★ 社会福祉概論 芸術 (9A) 中国語	◎ ファイナンシャルプラン演習 ★ 社会調査論 マーケティング 簿記論A 簿記演習A コンピュータ会計	◎ ゼミナールA ビジネス実務B 実践学修の学び方 プレゼンテーション演習 コンピュータ科学 データベース	アルゴリズムとデータ構造 映像制作 ウェブデザインB 産業・ビジネスの心理学 データサイエンスB		ゼミナールA プレゼンテーション演習 コンピュータ科学 データベース アルゴリズムとデータ構造 データサイエンスB	○ ビジネス実務B ○ 実践学修の学び方 ゼミナールA プレゼンテーション演習 データベース 産業・ビジネスの心理学 データサイエンスB	○ 社会調査論 ○ ○ データサイエンスB ○ ○ マーケティング ゼミナールA 社会福祉概論 プレゼンテーション演習 データベース 産業・ビジネスの心理学	○ ウェブデザインB データベース 映像制作	ビジネス実務B プレゼンテーション演習 ゼミナールA
1年後期	(9A) 英語A 数理・データサイエンス・AI	◎ ファイナンシャルプラン 現代企業論 基礎簿記B 基礎簿記演習B 簿記特別演習 (簿記論B) (簿記演習B)	◎ ビジネス実務A インターンシップ *通年 プレゼンテーション概論 通信ネットワーク ITパスポート特別演習 ビジネスコンピューティングB	◎ キャリアプランニング プログラミング演習 コンピュータグラフィックス コンピュータミュージック ウェブデザインA 経済の心理学		○ キャリアプランニング ○ インターンシップ 通信ネットワーク ビジネスコンピューティングB ウェブデザインA	○ ビジネス実務A ○ キャリアプランニング ○ 現代企業論 インターンシップ ビジネスコンピューティングB プレゼンテーション概論	ビジネスコンピューティングB 経済の心理学	○ ウェブデザインA 通信ネットワーク コンピュータグラフィックス コンピュータミュージック	○ プレゼンテーション概論 ○ ビジネス実務A キャリアプランニング
1年前期	★ 経済学 遊びの中の数学 フレッシュャーズセミナー (9A) 韓国語 ※このほか、中国短期大学の 他学科時間割の教養科目も履 修できます(人数制限あり、一 部教職科目を除く)。	◎ 経営学概論 ◎ 情報処理論 基礎簿記A 基礎簿記演習A (簿記論A) (簿記演習A)	◎ 情報処理演習 ◎ マルチメディア 秘書学 インターンシップ *通年 ITパスポート特別講義 文書処理	◎ 対人関係の心理学 ◎ データサイエンスA ビジネスコンピューティングA プログラミング概論 音響メディア論		○ 情報処理論 ○ データサイエンスA インターンシップ プログラミング概論 情報処理演習 文書処理 ビジネスコンピューティングA	○ フレッシュャーズセミナー 経営学概論 経済学 インターンシップ 秘書学 文書処理 ビジネスコンピューティングA	経営学概論 対人関係の心理学 データサイエンスA	○ マルチメディア 文書処理 ビジネスコンピューティングA プログラミング概論	○ フレッシュャーズセミナー データサイエンスA
※「○」は資格必修科目										

※「○」は資格必修科目

卒業必修科目「◎」		社会福祉主事任用資格	上級／情報処理士	上級／ビジネス実務士	社会調査実務士／アシスタント	ウェブデザイン実務士	プレゼンテーション実務士
【卒業要件】	①教養科目：12単位以上（外国語(韓国語、英語A、中国語)より2単位以上を含むこと)	①必修「★」：2単位	①必修： 8単位／6単位	①必修： 8単位／6単位	①必修：10単位／6単位	①必修： 9単位	①必修： 6単位
	②専門科目：必修23単位、選択20単位以上 ③総単位数：計62単位以上	②選択「★」：4単位以上	②選択：16単位／4単位以上	②選択：16単位／4単位以上	②選択：16単位／10単位以上	②選択：11単位以上	②選択：10単位以上